

第12回

白川静漢字教育賞

福井県・福井県教育委員会主催

実践作品 募集！

福井県では、漢字文化の振興に寄与された本県出身の白川静博士を顕彰し、特色ある漢字教育を実践している方や漢字文化の普及や生涯学習の推進に貢献している方、ならびに、漢字に親しむ小・中学生を全国から公募・表彰しています。募集要項は裏面をご覧ください。

▶「一般の部」に「創作部門」を新設！

「創作部門」では、漢字文化の普及につながる作品（デザイン、ポスター、書作品等）や漢字文化の普及に向けたツールやコンテンツ（動画、ゲーム等）を募集します。

漢字が大好き！ 漢字の魅力を広く伝えたい！という皆様の作品をお待ちしています。ぜひご応募ください。



第11回受賞作品：「古代文字モチーフデザイン」
例：“魚”的古代文字を使用したデザイン

▶「小・中学生の部」自由部門への

応募用越前和紙を無料配布！

越前和紙は福井県越前市で作られている伝統工芸品です。

越前和紙のぬくもりを感じながら、古代文字書作品を制作してみませんか？

自由部門への応募を希望する小・中学校に越前和紙を無料配布します。（配布予定枚数を超える申込があった場合は抽選）

希望される学校は、下記 URL または2次元コードよりお申し込みください。（申込締切：令和7年5月29日）

URL: <https://forms.office.com/r/TCNYpqcnrn>



白川静博士書

古代文字
「遊」



詳しくは、
リーフレット内を
ご覧ください！

▶お問い合わせ・応募先 福井県教育庁生涯学習・文化財課 白川静漢字教育賞係

住所：〒910-8580 福井県福井市大手3丁目 17-1

TEL : 0776-20-0559 Email : syoubun@pref.fukui.lg.jp

<協賛(書籍提供)>株式会社平凡社・株式会社太郎次郎社工ディタス

<協賛(越前和紙提供)>越前市

【一般の部】を今回より

「研究実践部門」と「創作部門」の

2部門に分けて募集します！

▼「研究実践部門」

これまでどおり、「学校や社会教育で行われる授業や漢字教室などの漢字教育実践」や「大学や高年大学等で行っている漢字に関する研究や実践」についてご応募ください！

▼「創作部門」

漢字文化の普及につながる作品（デザイン、ポスター、書作品、エッセイ等）や漢字文化の普及に向けたツールやコンテンツ（動画、ゲーム等）をご応募ください！



<使用古代文字（漢字）>
上段左:穴 上段右:灰
下段左:狼 下段右:星

学校単位の
申込限定期間
越前和紙に

古代文字を書いて応募しよう！

■越前和紙の申込・作品の提出方法について

- ① 学校の担当教員が下記<申込フォーム>より申込
(5月29日(木)締切)
- ② 県から学校へ越前和紙の配布(6月上旬には発送予定)
- ③ 越前和紙による古代文字書作品作り
- ④ 学校単位で県に作品を提出(9月26日(金)消印有効)

<申込フォーム>

URL: <https://forms.office.com/r/TCNYpqcnrn>



■お問い合わせ・作品提出先

福井県教育庁生涯学習・文化財課 白川静漢字教育賞 担当:宮越
住所:〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL:0776-20-0559 Email:syoubun@pref.fukui.lg.jp

★白川文字学 HPにて「漢字の成り立ちを調べることができるサイト」を紹介しています。

古代文字や漢字の成り立ちを調べる際にぜひご活用ください！

URL: <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/syoubun/kanji.html>

2次元コード:



【小・中学生の部】自由部門へ古代文字書作品の応募を希望する小・中学校に越前和紙を無料配布します。書写の時間等に古代文字書作品を制作し、ご応募ください。（色・イラスト等アレンジ可。作品例は次ページをご覧ください。）越前和紙を希望される学校は左記URLか2次元コードからお申し込みください。
※学校単位での申込とし、最大申込枚数二〇〇枚とします。配布予定枚数を超える申込があった場合は抽選し、六月上旬に結果をお知らせします。

授業例を紹介



[小・中学生の部]川柳部門

「優」ただじつと悲しむ人のそばにいる

福井県 福井市文殊小学校六年 宮越 悠喜さん

「優」成り立ち
音を表すのは憂。憂は人が死んだ後、つきあいなどをひかえて、頭に喪章つけた人が哀しんでいる姿である。その哀しむ人の姿を優といい、またそのしぐさをまねする人を優という。その哀しむ姿や動作から「やさしい、しとやか、まさる、すぐれる」の意味に使われるようになつた。

【成り立ち】出典：『白川静博士の漢字の世界へ 第二版』
(福井県教育委員会編、平凡社刊)

[小・中学生の部]作文部門

「耳と目と心で

福井県 福井市清水中学校二年 水上 きいさん

私は最近、ボーッとして人の話を聞いていないことが多い。もちろんわざとではないのだけれど、案の定、後で困ることになる。そして、「聞く」ことの大切さを痛感している。

「音や声が自然と耳に入る」という意味の「聞く」と比べて、「聞く」は「理解しようと自ら進んで耳を傾ける」という意味だ。

小学生の頃、何の授業でどんな先生が話していたかも覚えていて、小学生の頃、何の授業でどんな先生が話していたかも覚えていて、「耳と目と心で聞く」と書いて、「耳と目と心で聞く」と教えてくれたことがあった。まだ今よりも幼くて、人の話を素直に受け入れていた私は、この話を聞いて「なるほどなあ。素敵だな」と感心した。相手の話をしっかりと聽けることは人付き合いや仕事では必要ないことだし、役に立つ。これから、自分のためにも「耳と目と心で聞く」ことを実践していきたい。

漢字成り立ち川柳 募集



越前和紙「古代文字書作品」

福井県 福井県立高志中学校3年 内藤 由衣さん



越前和紙「古代文字書作品」

福井県 あわら市北潟小学校2年 関 優花さん

[小・中学生の部]自由部門

漢字がテーマの
自由な作品

募集

過去の受賞作品を
ホームページでも
紹介しています



「絵文字デザイン」
福井県 福井市足羽中学校1年
安野 佑紀さん



「漢字成り立ちスタンプ」
福井県 福井県立高志中学校3年
郡谷 遼さん